



イベント・シンポジウム等実績報告書 配分事業費：447千円

サイエンス・テクノロジーとデザイン（みんなの電話）

目的・趣旨

「科学」や「技術」の話題を、デザインの力でわかりやすく説明し、これらの分野への学生の興味を引き出す目的で、図書館内のスペースやギャラリー等を使い、展示とワークショップ等を組み合わせたイベント「みんなの電話」を実施した。

日時・場所

令和7年3月22日～令和7年3月31日
静岡文化芸術大学 ギャラリー、図書館・情報センター

体制

（実施代表者）	デザイン学部	デザイン学科	教授	的場	ひろし
	デザイン学部	デザイン学科	教授	かわ	こうせい
	デザイン学部	デザイン学科	特任助手	西山	雄大

内容

- ①3月22日 本学ギャラリー
ミニレクチャー2件、ワークショップ1件を実施
- ②3月24日～3月31日 図書館の展示スペース
「電話の歴史」の横長図表を掲示

結果・成果

①ミニレクチャーでは、芝浦工業大学名誉教授、元日本電信電話公社電気通信研究所 大賀寿郎氏による「昭和の電話機の進化―600形から601形へ」と、実施分担者の西山雄大による「電話事業を支えた『通信建築』」の講義が行われた。ワークショップでは実施代表者の的場ひろしが、ギャラリー内に「昔の電話の使い勝手の疑似体験装置」等、10種類のインタラクティブなシステムを、自由に体験できる形式で展示し、展示から興味を感じた内容についてさらに深い知識を得ることのできる関連書籍を十数冊選び陳列を行った。これらに、本学学生、本学教職員、一般市民等、計35名が参加し、ミニレクチャーでは積極的な質疑応答が行われ、ワークショップでも積極的に体験を行う様子が見られた。



②横5.4m×縦1.5mの大きさの横断幕（ターポリン）に、電話の歴史を「電話機」「交換機」「伝送路」の3つの分野に分けて説明する図表を印刷して、図書館の展示スペースに（3月22日のみ、ワークショップ会場に）掲示を行い、期間中の図書館来訪者330名に閲覧していただくことができた。図表に関しては「わかりやすい」「興味がひかれる」等の意見をいただくことができた。

